

第5学年 道徳学習指導案

平成28年6月16日(木) 第5校時

- 1 主題名 夢を実現するために 1-(2)
- 2 資料名 「いつも全力で」 (「希望を持って」東京書籍)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、高学年の内容項目1-(2)「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。」ことをねらいとしている。

この内容項目は、低学年の内容項目1-(2)「自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかり行う。」、中学年の内容項目1-(2)「自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。」を経て、高学年の内容項目につながってきている。そして、さらに、中学校の内容項目1-(2)「より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。」へと発展していく。

人は、よりよく生きようと夢や希望をもつ。しかし、変化の激しい現代社会において、夢がもてなかったり、途中であきらめたりしてしまうことが時としてある。そこで、夢をもち、やりぬくことの大切さに気付かせ、夢の実現に向けて努力していこうとする過程が大切であることに気付かせたい。

この時期の児童は、自分なりに高い理想や夢をもち、実現に向けて歩み始めようとする。それには、計画的に日常生活における努力目標を立て、くじけずに希望と勇気をもって取り組み、その理想に向かって着実に前進していこうとする強靱な意志や実行力とを育てる必要がある。しかし、現実的で、夢や希望に燃えるというより、目先の損得を中心とした目標で甘んじているようにも思える。

人がよりよい生き方をするには、自分の現状に満足することなく、昨日より今日、今日より明日と常に努力し続けることが大切である。持って生まれた自分の力を思う存分出し切って生きることが、自分の幸せにつながる。そのためには、できるかできないか、得か損かということより、自分を生かす目標をもち、その実現のために起こるさまざまな困難や障害を乗り越え、努力することの大切さを指導の中心としたい。そして、達成した時の満足感や成就感を味わわせ自己実現を図るという体験を通して身に付けさせていきたい。

(2) 児童の実態について

本学級では、目的意識をもって学習したり、生活したりすることを大切にしている。そして、結果より、それに至る過程を大切にしている。年度当初、本校の合言葉である「全力投球」を受け、「Do my best」～勇気を持ってチャレンジ～を学年スローガンとして掲げ、よりよくたくましい自分を創ろうと取り組んできた。

そんな中、林間学校に向けて体力づくりに励む児童、毎日常量を決めて意欲的に自主学習に取り組む児童、音楽朝会に向け、毎日、休み時間に練習をしている児童等、自分に合わせた目標のもとに努力している姿が見られる。しかしながら、なかには、目標を立てながら、途中でやめてしまったり、目標が定まらないままに、安易な生活を送ったりしている児童も見受けられる。原因は、めんどくさい、友達と遊ぶ時間がなくなる、自由な時間が欲しいというように、目先の気楽さのみにとらわれていることが多い。また、自分の特徴、よさとは別に、空想的に将来を考え、現実の生活の地道な努力とは無縁の傾向が見られることもある。

そこで、メジャーリーグで活躍し続けるイチロー選手の夢を実現させた過程を知ることで、夢や目標を実現させるためには、その過程が大切であることに気付かせたい。

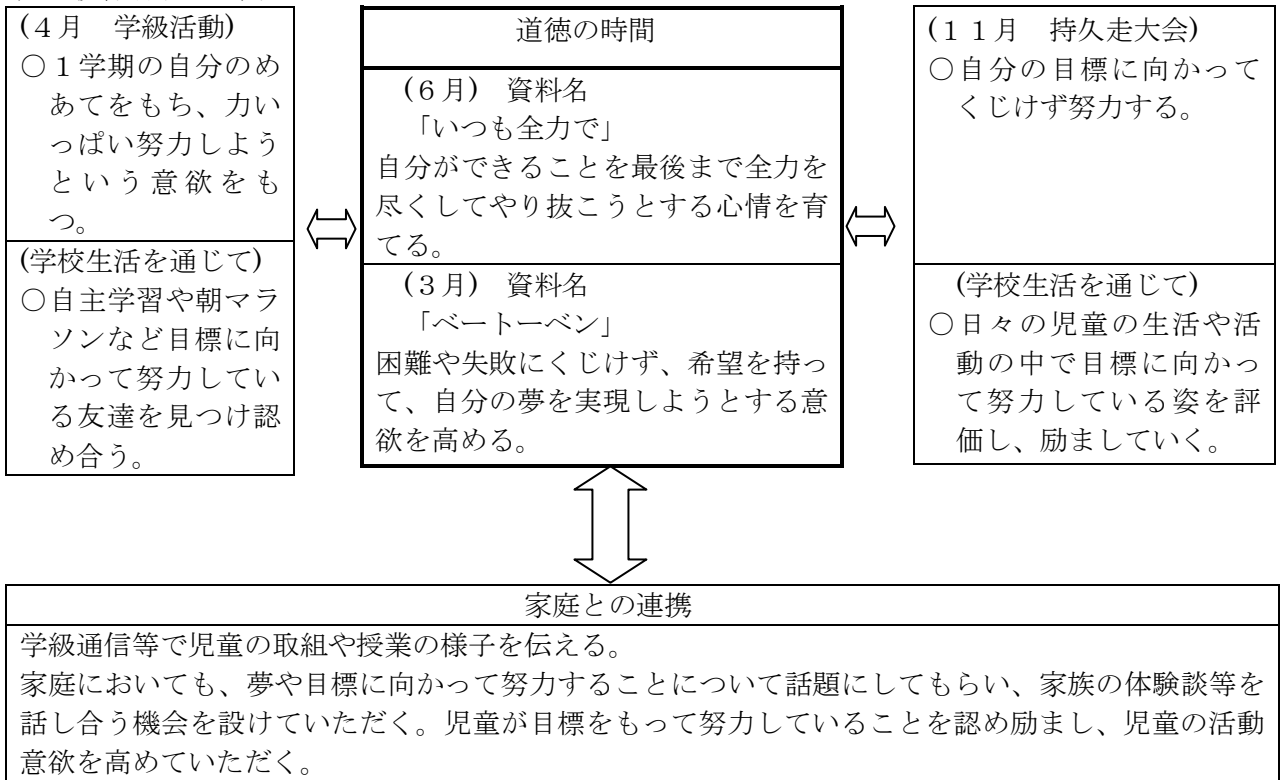
(3) 資料について

本資料は、現在、メジャーリーグで活躍するイチロー選手が日本のプロ野球に残した大記録達成に関するエピソードを中心としている。5年間にわたって全試合に出場し、首位打者であり続けたという、常に全力で、努力を惜しまないイチロー選手のひたむきさを感じとらせたい。

メジャーリーグの情報は、毎日、テレビや新聞等で報道され、児童にとって身近な存在となっている。また、野球やサッカーといった地区のスポーツ少年団に所属したり、スイミングやテニスなどのスクールに参加したりしている児童も多く、児童が興味をもって考えられる資料である。

イチロー選手の野球に取り組む真摯な姿勢を通して、彼の考え方に共感したり、感動したりすることを大切にしたい。現在、華やかな舞台上で活躍しているイチロー選手も、その少年時代は、習い事やテレビゲームに熱中する小学生であった。そこで、児童にとって身近な存在として意識させながらも、さらに、努力を惜しまず、野球に全力で取り組んできた様子に触れさせたい。

4 他の教育活動との関連



5 本時のねらい

自分ができるところを最後まで全力を尽くしてやり抜こうとする心情を育てる。

6 学習指導過程

| 段階 | 学習活動・主な発問 | 予想される児童の反応 | 指導上の留意点 ☆ (児童) ◇ (教師) 評価【評価方法】 | 時間 |
|----|---|---|---|----|
| 導入 | <p>1 「僕の夢」という作文を聞く。</p> <p>2 イチロー選手について知っていることを発表し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・メジャーリーグで活躍 ・マイアミ マーリンズ所属 ・10年連続200本安打 ・大リーグ年間最多安打記録 | <ul style="list-style-type: none"> ・イチロー選手が小学生の時に書いた作文を作者名は伏せて紹介し、興味を高める。 ◇資料への関心をもたせる支援ができたか。 | 6 |
| 展開 | <p>3 資料について条件・状況を知り、話を聞く。</p> <p>4 心に残ったことを発表する。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>登場人物 イチロー選手(主人公)</p> <p>条件・状況 メジャーリーグの歴史・規模</p> <p>2001年メジャーリーグ1年目の成績</p> <p>新人最多安打・首位打者・盗塁王・新人王</p> <p>ゴールドグラブ賞・アメリカンリーグ最優秀選手(MVP)</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・話合いの時間を確保するため、条件、状況把握を丁寧に行う。 ◇児童が話の内容や状況をおさえられるような資料渡しの工夫ができたか。 ☆心に残った場面を見つけ、話し合おうとする意欲を高めることができたか。 <p style="text-align: center;">【観察・発表】</p> | 9 |

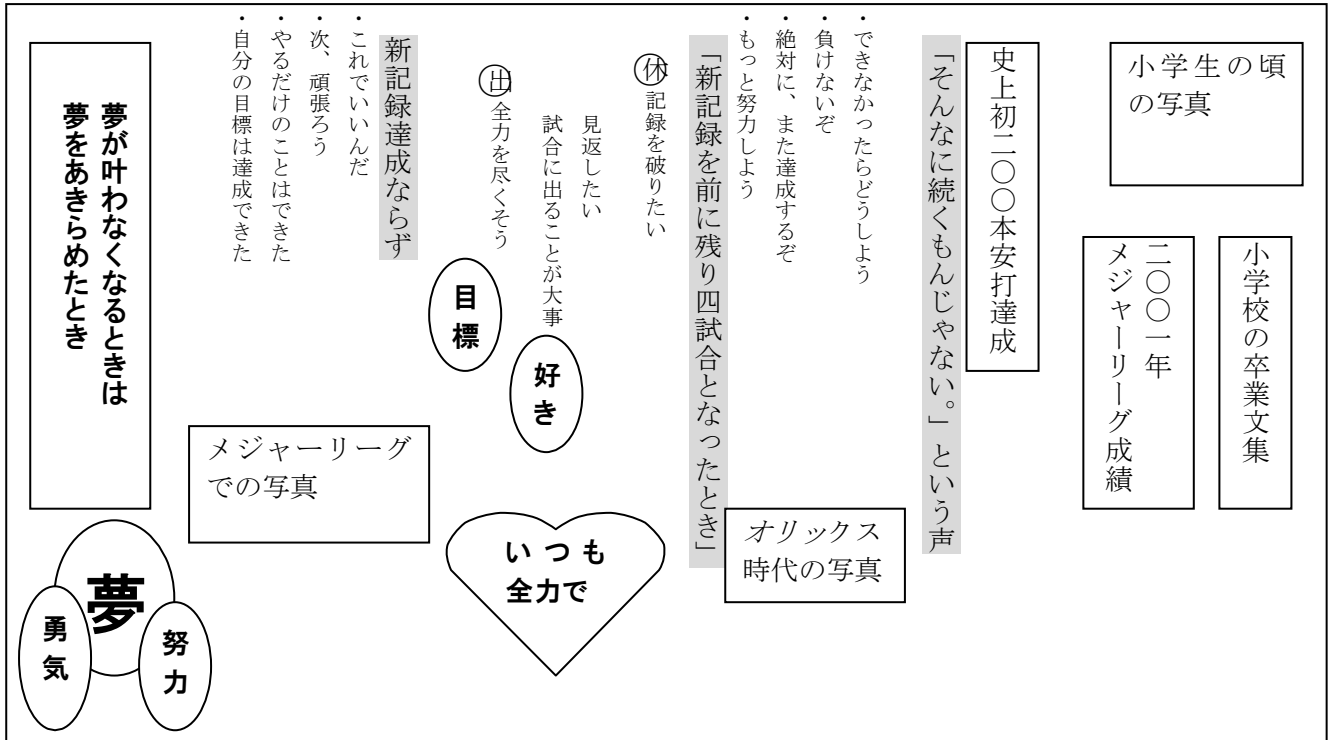
| | | | | | |
|----|-------|--|---|---|----|
| | | <p>5 目標に向かって取り組むイチロー選手の姿について話し合う。</p> <p>(1)「そんなにすごい成績が続くもんじゃない」という声が聞かれたときは、どんな気持ちだったでしょうか。</p> <p>(2)新記録達成を目前にして残り4試合を迎えたイチロー選手はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>補「試合に出ない工夫？なんで、そんなことをしないといけないんですか？」と言ったのは、どんな思いからでしょうか。</p> <p>(3)新記録が達成できなかったとき、イチロー選手はどんな思いだったでしょうか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・できなかつたらどうしよう。 ・負けないぞ。 ・絶対にまた、いい成績を出すぞ。 ・達成できなかつたら、どうしよう。 ・記録を破りたい。 ・見返してやりたい。 ・試合に出ることの方が大事。 ・全力を尽くすだけだ。 ・成績のために野球をやっているのではない。 ・これでいいんだ。 ・全力を出し切れたからよかった。 ・自分の目標が達成できてよかった。 ・次、また頑張ろう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・イチロー選手の熱い思い、頑張り続ける気持ちを考えさせる。 ・記録の内容や他の選手の記録に対する姿勢を押さえ、真摯に野球に取り組むイチロー選手の気持ちを考えさせる。 ・イチロー選手の心の葛藤にふれさせる。 ・連続試合出場を続けたことやチームメイトの言葉から、野球が好きで、常に全力でプレーしようとするイチロー選手の思いや考え方をしっかりと感得させ、ねらいに導きたい。 <p>☆イチロー選手の生き方に共感したり感動したりすることができたか。</p> <p>【観察・発表】</p> | 20 |
| | 見つめる | <p>6 これまでの生活を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業で、イチロー選手の生き方からどんなことを学びましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自主学習の取組は、少し適当なところがあつたので、これからは、目標をしっかりもってやりたい。 ・スポーツ少年団の練習がつかなくても、選手になれるように頑張る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「イチロー選手はすごい」という感想で終わらないように、自己の生活と結び付けて考えさせる。 <p>☆これからの自分の生活において、イチロー選手のように、自分ができるとをいつも全力でやり抜いていこうという気持ちをもてたか。【観察・プリント】</p> | 7 |
| 終末 | あたためる | <p>7 教師の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生が大切にしている言葉を贈ります。 「夢が叶わなくなる時は、夢をあきらめた時」 | <ul style="list-style-type: none"> ・よし、自分も目標に向かって頑張るぞ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師の体験談として、小学校6年当時の自主学習ノートを提示し、目標に向かって努力してきた話を聞かせ、これからの生活への意欲を高める。 ・言葉をしおりに書き、それを一人一人に手渡すことにより、印象深くまとめる。 | 3 |

7 評価の観点

☆イチロー選手の気持ちを考えることで、高い目標を立て、その実現に向けて自分ができることを最後まで全力を尽くしてやり抜くことの素晴らしさに気づき、自分自身の生活に対する意欲をもつことができたか。

◇導入や終末における資料提示の工夫により今後の実践意欲を高めることができたか。

8 板書計画



9 資料分析表

| 場面 | キーワード | 主人公の心の動き | 発問・話し合い |
|--|--|--|--|
| 日本プロ野球で初めて200本以上の安打を放ち、初の首位打者になった。 | 「イチローがこんなすごい成績を残せるのは今年だけだろう。そんなに続くもんじゃない。」 | みんなが「できない。」と言えば言うほど、「やってやろう。」という気になり「負けてたまるか」という激しい闘志が燃える。 | ○野球関係者からの実力を疑問視する声にイチロー選手は、どんな気持ちだったでしょう。 |
| 日本プロ野球のシーズン最高打率達成のチャンス。残り試合に出なければ自動的に新記録達成が可能。 | 「休めばいいのに。」数字が選手の評価を決める「勝負の世界」なのだから仕方がない。 | 「試合に出ない工夫？何でそんなことをしないといけないんですか？」残り4試合に出場。 | ◎新記録達成を目前にして残り4試合を迎えたイチロー選手はどんな気持ちだったのでしょうか。 |
| 残り4試合に出場したために、新記録の達成はできなかった。 | 「試合を休みさえすれば。」 「もったいない。」 | | ○新記録が達成できなかったとき、イチロー選手はどんな思いだったのでしょうか。 |
| 5年間にわたって全試合に出場し、首位打者であり続けた。 | | | |